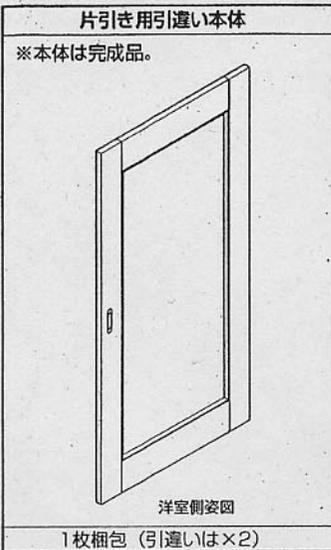


●本製品はあらかじめ襖紙が張ってありますので、工事中は梱包状態のまま室内の安全な場所に保管してください。

■部品・部材の明細

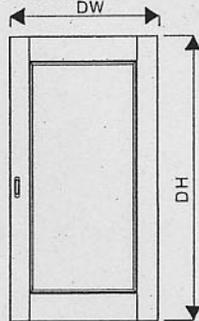


■製品寸法

(単位mm)

呼称	DH	DW
在来 工法向け	1618	1813
	1620	2013
2×4 工法向け	1618	1763
	1620	1963

※新和風(SL)の戸襖ユニット枠を使用した場合の寸法です。

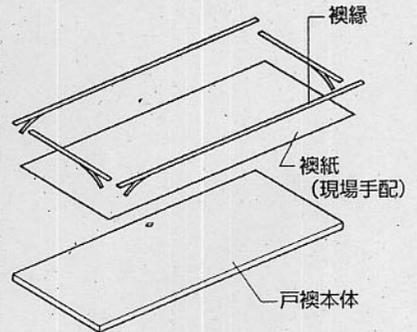


■戸襖の現地張り

●生地タイプ(K-2)の戸襖の場合は、現地で襖紙を張ってください。

- ①本体の生地面側(白色)に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。
 - ②襖縁を、本体の寸法に合わせてノコギリで切断します。
 - ③襖縁のリケイ紙をはがし、襖紙の上から圧着してください。
- ※襖縁の厚さは2種類あります。厚い方を縦に、薄い方を横に使用してください。

【お願い】
クロス張りにしないでください。
反りが生じます。



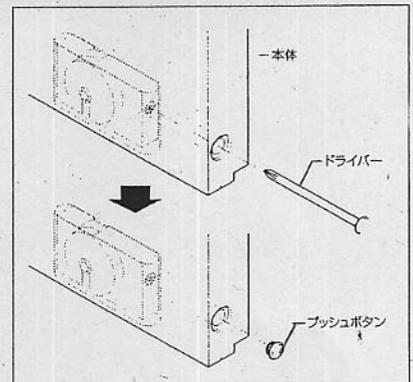
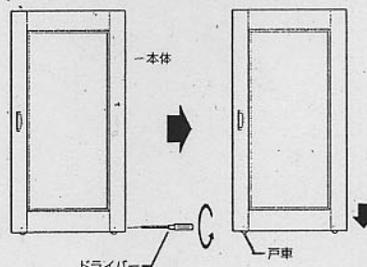
■本体の建付け調整

■上下の建付け調整

- 本体の戸車には、上・下調整機能が付いています。プッシュボタンを外しドライバーで建付けを調整してください。調整幅は+1、-2mmです。右に回すと本体が下がります。調整後、プッシュボタンをはめ込んでください。

▲注意

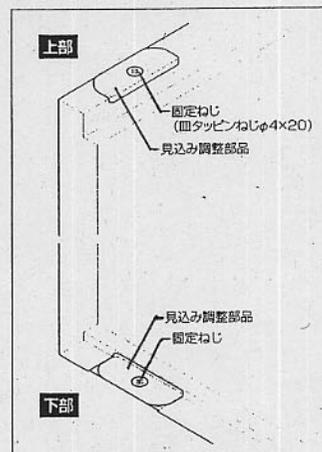
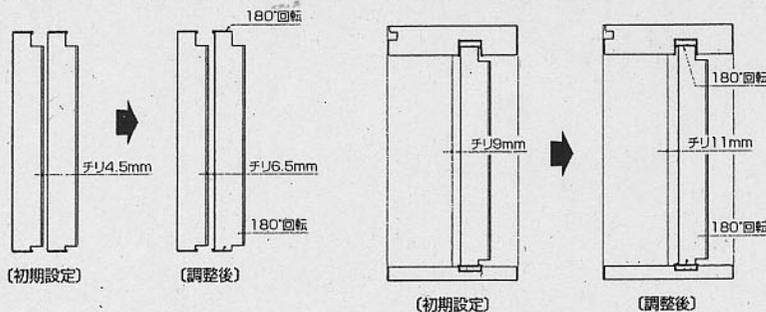
- 建付け調整後、下記の事項を確認してください。
- ・本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが、5mm以上あることを確認してください。本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- ・本体と縦枠の上・下部のチリが均等か確認してください。以上の調整が不十分の場合、本体が外れるおそれがありますのでご注意ください。



■本体見込み方向のチリ調整

- 本体の戸首には、見込み方向のチリ調整機能が付いています。固定ねじを緩めて、見込み調整部品を180°回転し、固定ねじで締付けて調整します。

- ①引違い戸で、建具本体同士が当たる場合。 ②片引き戸で、建具が中縦枠に当たる場合



▲注意

- 本体の吊込み後、本体の鴨居への掛かりが、5mm以上ある事を確認してください。本体と枠の間に、隙間が生じたり、本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れ易くなり、ケガや故障の原因になります。